重点分野

キーワード

該当する施策

I

県土の強靱性

防災·減災

重要物流道路※

緊急輸送道路※

定期点検

長寿命化修繕計画※

新技術活用

- (1)災害に強い みちづくり
- (2)災害対応の迅速化をめざした みちづくり
- (3)いつでも安心して移動できる みちづくり

Ⅱ持続可能で

歩行者·自転車

脱炭素·GX※

信州まち・あい空間

無電柱化※

道路ネットワーク

維持管理

- (1)誰もが安全に移動できる みちづくり
- (2)脱炭素社会の実現に向けたみちづくり
- (3)歩きたくなる みちづくり
- (4)快適な暮らしを支える みちづくり

Ⅲ 観光や産業の振興

本州中央部広域交流圏※

リニア中央新幹線

産業の生産性

観光の周遊性

道の駅

サイクルツーリズム

- (1)人・モノ・サービスが行き交う みちづくり
- (2)ストレスなく快適に移動できる みちづくり
- (3)観光を満喫できる みちづくり

## 目 標

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
I -(1)	重要物流道路 <sup>※</sup> 等における対策必要箇所 の整備	_	0 箇所	9箇所 (50%)	18箇所 (100%) 【2035年度末】
	緊急輸送道路 <sup>※</sup> における危険箇所の整備	_	0 箇所	57箇所 (62%)	92箇所 (100%) 【2035年度末】
I -(2)	迂回路における大型車の通行に支障をき たす区間の整備	-	0 箇所	11箇所 (55%)	16箇所 (80%) 【2035年度末】
I -(3)	緊急又は早期に対策が必要な橋梁・トン ネルにおける修繕等の措置完了率	-	橋梁 23% トンネル 75% 【2021年度末】	100%	_

策定時現状 進捗状況 目標 施策 整備効果 将来目標 【2017年度末】 【2022年度末】 【2027年度末】 100% H24点検 通学路安全対策箇所整備率 83% 100% (達成) Ⅱ-(1) R3通学路合同点検要対策箇所の整備 477箇所 647箇所 10,176 t-CO2/Kwh 照明 L E D化による C O 2排出量削減 2,271 t-CO2/Kwh 2,271 t-CO2/Kwh (達成) (トンネル照明除く) II -(2) 100%をめざした 71% 65% 道の駅(県管理)へのEV充電設備 設置率 (13/20箇所) (15/21箇所) 設置支援実施 「信州まち・あい空間」を創出する地区 Ⅱ-(3) 数 0地区 10地区 87% 主要医療施設 15分人口カバー率 約85% 87% (達成) Ⅱ-(4) 98% 主要医療施設 30分人口カバー率 約97% 98% (達成)

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
Ⅲ-(1)	高規格道路※ 15分アクセス圏人口カ バー率	約70%	73%	_	約80%
	東京90分圏域 伊那谷人口カバー率	0 %	0 %	_	リニア開業 約60% +関連道路 約85%
	名古屋60分圏域 伊那谷人口カバー率	0 %	0 %	_	リニア開業 約46% +関連道路 約59%
Ⅲ-(2)	道の駅(県管理)への公衆無線LAN*の設置率	40% (8/20箇所)	67% (14/21箇所)	100%をめざした 設置支援実施	_
	道の駅(県管理)のトイレ洋式化率	53% (洋式トイレ数105/ 総トイレ数197)	91% (洋式州ル数189/ 総州ル数208)	概ね100% +快適性向上	_
Ⅲ-(3)	Japan Alps Cycling Road整備延長	-	約180km	-	約878km